

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

事業報告書

公益社団法人日本将棋連盟
会長 谷川浩司

平成27年度 公益社団法人日本将棋連盟 事業報告書

〔自 平成27年4月1日 ～ 至 平成28年3月31日〕

【定款抜粋（公益社団法人日本将棋連盟）】

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するため、下記の事業を行う。

- (1) 棋戦を主催し対局棋譜の提供及び棋戦の解説講評等を行い、将棋の普及啓発を推進する
- (2) 機関誌の定期発行・棋書の随時刊行により、将棋の普及発展を図る
- (3) 全国各地で講習会、大会を開催するとともに、支部等を設置して広域的に事業を展開する
- (4) 国際的な対局の開催や国際大会の支援を通じて、将棋文化を世界に発信する
- (5) セミナー・育成等の修練の場として将棋会館を設立し、一般への施設貸与にも供することにより広く棋道の発展を図る
- (6) 専門棋士を全国各地及び海外へ派遣し、将棋の拡大発展を図る
- (7) 各文化団体と連携を図り、日本固有の文化を継承発展させる活動に寄与する
- (8) 学校教育の場において将棋の普及啓発が図られるための活動を推進する
- (9) アマチュア段級位制度を通じて、将棋の普及啓発を図るため免状、認定状等を発行、交付する
- (10) その他本連盟の目的を達成するため必要な事業

定款第4条（1）項に関する事業報告

1. 竜王戦（第28期 読売新聞社）

- （1）竜王保持者以外の現役棋士と女流棋士4名・奨励会三段1名・アマチュア5名の計170名が、1～6組に分かれてトーナメント戦（ランキング戦）を行った。
- （2）ランキング戦通過者11名による決勝トーナメントを行い、渡辺明棋王が挑戦者となる。
- （3）糸谷哲郎竜王と挑戦者渡辺明との間で七番勝負を行い、4勝1敗で渡辺明が竜王を奪取した。

<10月～12月>

2. 名人戦（第73期 毎日新聞社・朝日新聞社）

- （1）A級・B級1組・B級2組・C級1組・C級2組の各クラスの順位戦に131名が参加し行方尚史八段がA級の最高成績者となる。
- （2）羽生善治名人と挑戦者行方尚史との間で七番勝負を行い、4勝1敗で羽生善治が名人を防衛した。

<4月～6月>

3. 王位戦（第56期 新聞三社連合<北海道・中日・西日本・神戸・東京・徳島各新聞>）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計156名が参加して、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者8名の計12名を紅白2組に分けてそれぞれ総当たりのリーグ戦を行い、広瀬章人八段が最高成績者となる。
- （3）羽生善治王位と挑戦者広瀬章人との間で七番勝負を行い、4勝1敗で羽生善治が王位を防衛した。

<7月～9月>

4. 王座戦（第63期 日本経済新聞社）

- （1）本戦シード者以外の現役棋士と女流棋士4名の計157名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）本戦シード者6名と予選通過者10名の計16名による本戦トーナメント戦を行い、佐藤天彦八段が挑戦者となる。
- （3）羽生善治王座と挑戦者佐藤天彦との間で五番勝負を行い、3勝2敗で羽生善治が王座を防衛した。

<9月～10月>

5. 棋王戦（第41期 共同通信社）

- （1）シード者以外の現役棋士と女流棋士1名・アマチュア1名の計139名が、トーナメント形式による予選を行った。
- （2）シード者24名と予選通過者8名の計32名による本戦トーナメントを行い、佐藤天彦八段が挑戦者となる。
- （3）渡辺明棋王と挑戦者佐藤天彦との間で五番勝負を行い、3勝1敗で渡辺明が棋王を防衛した。

<2月～3月>

6. 王将戦（第65期 スポーツニッポン新聞社・毎日新聞社）

- （1）シード者以外の現役棋士（156名）が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。
- （2）シード者4名、予選通過者3名の計7名で総当たりのリーグ戦を行い、羽生善治名人が最高成績者となる。

(3) 郷田真隆王将と挑戦者羽生善治との間で七番勝負を行い、4勝2敗で郷田真隆が王将を防衛した。

<1月～3月>

7. 棋聖戦 (第86期 産経新聞社)

(1) シード者以外の現役棋士と女流棋士2名の計154名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。

(2) シード者6名、予選通過者10名の計16名による決勝トーナメントを行い、豊島将之七段が挑戦者となる。

(3) 羽生善治棋聖と挑戦者豊島将之との間で五番勝負を行い、3勝1敗で羽生善治が棋聖を防衛した。

<6月～7月>

8. 叡王戦 (第1期 ドワンゴ)

(1) エントリーで参加を表明した現役棋士154名がトーナメント形式による段位別予選を行った。

(2) 予選通過者16名による本戦トーナメントを行い、決勝三番勝負で山崎隆之八段が郷田真隆九段を2連勝で破って優勝した。なお、予選特選局と本戦はニコニコ動画において生中継を行った。

<6月～12月>

9. 朝日杯将棋オープン戦 (第9回 朝日新聞社)

(1) シード者以外の現役棋士と女流棋士6名、アマチュア10名の計167名が、トーナメント形式による一次予選・二次予選を行った。

(2) シード者8名と予選通過者8名の計16名による本戦トーナメントを行い、決勝は羽生善治名人が森内俊之九段を破って優勝した。なお、準決勝・決勝は公開対局をし、CS朝日の生放送でTV中継、ライブでネット配信を行った。

<2月>

10. 銀河戦 (第23回 株式会社囲碁将棋チャンネル)

(1) シード者以外の現役棋士(126名)が、予選を行った。

(2) シード者35名と予選通過者、女流2名、アマチュア4名の計96名をA～Hの8組に分け、勝ち抜き戦を行った。

(3) 各組の最終勝ち上がり者と最多連勝者の計16名により、決勝トーナメントを行い、決勝は、深浦康市九段が佐藤天彦八段を破って優勝した。

<決勝放映は9月>

11. NHK杯将棋トーナメント (第65回 日本放送協会)

(1) シード者以外の現役棋士計130名が、トーナメント形式による予選を行った。

(2) シード者32名(女流棋士1名を含む)と予選通過者18名による計50名で本戦トーナメントを行い、決勝は村山慈明七段が千田翔太五段を破って優勝した。

<決勝放映は3月>

12. 将棋日本シリーズ (第36回 各地方新聞社、協賛：日本たばこ産業株式会社)

(1) 選抜棋士12名でトーナメントを行い、決勝は三浦弘行九段が深浦康市九段を破って優勝した。全11対局を全国の都市で行い、無料で一般に公開した。併せてこども大会も全会場で行った。

<決勝は11月>

13. 新人王戦（第46期 しんぶん赤旗）
- (1) 26歳以下・五段以下の若手棋士と女流棋士4名・選抜奨励会三段16名・アマチュア1名の計40名によるトーナメントを行った。
 - (2) 決勝三番勝負は、菅井竜也六段が大橋貴洸三段を2勝1敗で破って優勝した。
 <10月～11月>
14. 加古川清流戦（第5期 加古川市、公益財団法人加古川市ウェルネス協会）
- (1) 四段の棋士16名と選抜奨励会三段23名・女流棋士2名・アマチュア3名でトーナメント戦を行った。
 - (2) 決勝三番勝負は、稲葉聡アマが増田康宏四段を2勝1敗で破って優勝した。
 決勝は加古川市内で行った。
 <決勝は10月>
15. マイナビ女子オープン（第9期 株式会社マイナビ）
- (1) シード者以外の現役女流棋士とチャレンジマッチを勝ち上がった女流棋士とアマチュア7名と女性奨励会員2名の計52名が、トーナメント形式の予選を行った。
 - (2) シード者4名と予選通過者12名の計16名で本戦トーナメントを行い、室谷由紀女流二段が挑戦者となる。
 - (3) 加藤桃子女王と挑戦者室谷由紀との間で平成28年4月より五番勝負を行い、3勝1敗で加藤桃子が女王を防衛した。
 <4～5月>
16. リコー杯女流王座戦（第5期 株式会社リコー、特別協力：日本経済新聞社）
- (1) シード者以外の女流棋士45名・女性奨励会員1名、予選を勝ち上がったアマチュア6名と海外招待者1名が参加して、トーナメント形式による一次予選二次予選を行った。
 - (2) シード者と予選通過者の計16名による本戦トーナメントを行い、伊藤沙恵女流二段が挑戦者となる。
 - (3) 加藤桃子女流王座と伊藤沙恵との間で五番勝負を行い、3勝2敗1持将棋で加藤桃子が女流王座を防衛した。
 <10～12月>
17. 岡田美術館杯女流名人戦（第42期 報知新聞社、
 協賛：株式会社ユニバーサルエンターテインメント）
- (1) シード者以外の現役女流棋士（50名）が、トーナメント形式の予選を行った。
 - (2) シード者5名、予選通過者5名の計10名で総当りのリーグを行い、清水市代女流六段が最高成績者となる。
 - (3) 里見香奈女流名人と挑戦者清水市代との間で五番勝負を行い、3勝2敗で里見香奈が女流名人を防衛した。
 <1月～2月>
18. 女流王位戦（第26期 新聞三社連合
 <北海道・中日・西日本・神戸・東京・徳島各新聞>）
- (1) シード者以外の現役女流棋士（46名）が、トーナメント形式の予選を行った。
 - (2) シード者6名、予選通過者6名の計12名で紅白2組に分けてそれぞれ総当りのリーグ戦を行い、里見香奈女流名人が最高成績者となる。
 - (3) 甲斐智美女流王位と挑戦者里見香奈との間で五番勝負を行い、3勝0敗で里見香奈が女流王位を奪取した。
 <5月～6月>

19. 霧島酒造杯女流王将戦（第37期 株式会社囲碁将棋チャンネル、協賛：霧島酒造株式会社）
- (1) シード者以外の現役女流棋士とアマチュア5名の計54名が、トーナメント形式の予選を行った。
 - (2) シード者と予選通過者12名による本戦トーナメントを行い、里見香奈女流二冠が挑戦者となる。
 - (3) 香川愛生女流王将と挑戦者里見香奈との間で三番勝負を行い、2勝0敗で里見香奈が女流王将を奪取した。
<10月>
20. 大山名人杯倉敷藤花戦（第23期 倉敷市・山陽新聞社他）
- (1) 倉敷藤花以外の現役女流棋士（53名）とアマチュア2名が、トーナメントを行い、里見香奈女流二冠が挑戦者となる。
 - (2) 甲斐智美倉敷藤花と挑戦者里見香奈との間で三番勝負を行い、2勝0敗で里見香奈が倉敷藤花を奪取した。なお、三番勝負第2局は一般に公開して行った。
<11月>
21. 女子将棋YAMADAチャレンジ杯（第1回 ヤマダ電機）
- (1) 女流選抜15名とアマチュア選抜1名の計16名が参加して1局勝ち抜けの予選を行った。
 - (2) 予選通過者8名による本戦トーナメントを行い、決勝は渡部愛女流初段が竹俣紅女流1級を破って優勝した。なお、本戦はヤマダ電機「LABI1 高崎」にて公開対局を行った。
<11月>

定款 第4条（2）項に関する事業報告

1. 月刊「将棋世界」
A5判、260頁、付録1冊、定価800円、毎月3日発売
販売：株式会社マイナビ出版
2. 週刊「週刊将棋」
タブロイド判、24頁、定価350円、毎週水曜日発売
販売：株式会社マイナビ出版、販売協力：毎日新聞社
3. 「平成27年版将棋年鑑」
B5判、664頁、定価（本体4,600円+税）、7月下旬発売、直販品
4. 書籍
 - イ、「摩訶不思議な棋士の脳」先崎学著
46判、224頁、定価（本体1,540円+税）
 - ロ、「加藤一二三名局集」加藤一二三著
A判、392頁、定価（本体2,800円+税）
 - ハ、「最強の3手詰」森信雄著
文庫判、384頁、定価（本体1,140円+税）
 - ニ、「将棋戦型別名局集2四飛車名局集」鈴木大介解説
A判、432頁、定価（本体2,800円+税）
 - ホ、「横歩取りハマ手裏定跡」飯島栄治著
46判、224頁、定価（本体1,540円+税）
 - ヘ、「脳トレ7手9手詰」北浜健介著
文庫判、432頁、定価（本体1,240円+税）

- ト、「大山康晴 忍の一手」編集部編
 文庫判、344頁、定価（本体1,140円+税）
- チ、「矢倉名局集」高橋道雄著
 A5判、432頁、定価（本体3,000円+税）

以上、将棋普及を目的とした出版物を刊行した。

定款 第4条（3）項、（4）項、（6）項に関する普及事業報告

1. 平成27年度社会福祉活動支援報告①

支援対象大会名 第28回全国障害者将棋大会
 実施時期 平成27年10月18日
 会場 東京都内
 出場資格 障害をお持ちの方で将棋が指せること
 主催 全国障害者将棋大会（代表：栢沼明）
 後援 東京都社会福祉協議会、朝日新聞東京厚生文化事業団、日本将棋連盟他
 支援内容 賞品（扇子）寄贈・後援名義使用

2. 平成27年度社会福祉活動支援報告②

支援対象大会名 第39回全国盲人将棋大会
 実施時期 平成27年11月14・15日
 会場 日本盲人福祉センター
 出場資格 日本盲人会連合組織団体の会員であること
 審判長 宮田利男八段
 主催 社会福祉法人日本盲人会連合
 後援 厚生労働省・日本放送協会・日本将棋連盟
 支援内容 免状寄贈・後援名義使用・審判長／運営要員人選補佐

3. 日本文化紹介事業「海外棋士派遣事業」

派遣先 ブラジル・米国
 日程 平成27年7月21日～8月5日
 派遣者 大野八一雄七段、植山悦行七段
 内容 サンパウロにて7月25・26日に開かれる「フェスティバル・ド・ジャポン（日本祭り）」にて、将棋の実戦指導や将棋文化講座を実施。
 ブラジルの日本都道府県人会関係者などへ、将棋の定跡や詰将棋、次の一手などの講習会を実施。
 米国ロサンゼルス支部において、将棋大会の審判、指導対局、将棋教室などを実施。

定款 第4条（3）項、（6）項、（8）項に関する普及開発事業報告

- | | | |
|----------------|---------|-------------------------|
| 1. 親子ふれあい将棋大会 | 7月11日 | 更生保護会館 |
| 2. 将棋指導員審査 | 4月5日 | 6地区（愛知・北海道・福岡・宮城・大阪・東京） |
| 3. 名人戦大盤解説会 | 4月～6月2日 | 地区（東京・大阪）大盤解説会 |
| 4. 第47期女流アマ名人戦 | 9月13日 | 東京・将棋会館 |

5. 文部科学大臣杯第11回小中学校将棋団体戦 8月5日 産経ホール
産経新聞社・文部科学省・文化庁・NHK・JKA
JKAより平成27年度公益事業振興補助事業補助金として4,206,300円
6. 第41回「将棋の日」 11月21・22日 倉敷市民会館(倉敷市)
7. U-18将棋スタジアム 12月23日 東京武道館
8. 学校へ将棋指導者派遣事業 4月～3月

定款 第4条(3)項、(6)項、(10)項に関する事業報告

1. 新宿将棋センター 以下の各種教室・イベントを行った。
- ◇レディースセミナー 毎月第1、3土曜日 女性
 - ◇シニアスクール 毎月第2、4木曜日 50歳以上
 - ◇金曜ナイトスクール 毎月第2、4金曜日 初心者から有段者
 - ◇専門棋士による指導対局
 - ◇夏休み(7～8月)、冬休み(12月)春休み(3～4月)に子供大会を実施
2. ヤマダこども将棋教室
- ・全国(札幌～那覇)ヤマダ電機58店舗で開催した。
 - ・専門棋士および将棋指導員、支部役員を講師として派遣した。
3. 北海道将棋会館
- 北海道支部連合会へ将棋道場運営を依頼。

定款 第4条(5)項に関する事業報告

1. 将棋道場事業
- 将棋会館(東京)、関西将棋会館(大阪)、新宿将棋センターにて将棋道場を開設した。
2. 東京将棋会館 教室講習 以下の各種教室・イベントを行った。
- ◇ラクラク基礎から講座 毎週 火曜日 月4回 初心者
 - ◇遊々将棋塾 毎週 土曜日 月4回 初心者から有段者
 - ◇子供将棋スクール 毎週 日曜日 月4回 小学生
 - ◇パワーアップ将棋セミナー 毎月 第1・3水曜日 小学生
 - ◇ガチンコ子供将棋教室 毎週 土曜日 月4回 小学生
 - ◇レディースセミナー 毎月 土曜日 月4回 初心者から有段者の女性
 - ◇ビギナーズセミナー 毎週 月・木曜日 入門・初心者・級位者
 - ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施
 - ◇専門棋士対局の観戦(不定期)実施
 - ◇夏休み(7～8月)子供大会の実施
 - ◇年未年始 将棋大会の実施
3. 子供将棋スクール・分校
- ◇町田校 毎週日曜日(第5を除く)小学生以下
 - ◇新宿校 毎週日曜日(第5を除く)小学生以下
 - ◇川口校 毎月第2、4日曜日 小学生以下
 - ◇横浜校 毎月第2、4日曜日 小学生以下

4. 子供将棋スクール・提携校

- ◇栄光キッズカレッジ自由が丘校 毎週 土曜日 月4回 小学生
- ◇栄光キッズカレッジたまプラーザ校 第2・4金曜日、第1・3土曜日 月4回 小学生
- ◇栄光キッズカレッジ南柏校 毎週 日曜日 月4回 小学生

5. 関西将棋会館 教室講習 以下の各種教室・イベントを行った。

- ◇日曜こども将棋スクール 毎週日曜日/月4回/級位者/小・中学生
- ◇土曜こども将棋スクール 毎週土曜日/月4回/初級・中級・上級/小・中学生
- ◇ビギナーズセミナー 毎週土曜日/月4回/初心者/一般
- ◇レディースセミナー 毎週月曜日/月4回/入門(偶数月)・初級・中級/女性
- ◇タイトル戦・主要対局の大盤解説会の実施
- ◇専門棋士対局の観戦(不定期)実施
- ◇夏休み(7~8月)春休み(3~4月)子供大会の実施
- ◇年未年始 将棋大会の実施

6. 東・西将棋会館利用事業 将棋ファンのニーズに併せ以下の貸し出しを行った。

◇会場の貸し出し 随時

- 東京将棋会館 2階 研修室(50平米)
- 4階 特別対局室(18畳)・高雄(12畳)・雲鶴(12畳)・棋峰(12畳)
飛燕(10畳)・銀沙(10畳)・桂(14畳)
- 5階 香雲(12畳)
- 関西将棋会館 4階 水無瀬(14畳)・錦旗(14畳)・多目的ルーム(100平米)
- 5階 御下段(18畳)・御入側(9畳)・芙蓉(10畳)

◇棋具備品の貸し出し 随時

7. 施設貸与

- ◇東京将棋会館 地下 ケーブルTV専門チャンネル(株)囲碁将棋チャンネルに、将棋番組制作用スタジオとして貸与
- 5階 (株)ドワンゴに、将棋番組制作用スタジオとして貸与
- ◇北海道将棋会館 会館を北海道地域全般の将棋普及事業推進のため貸与

定款 第4条(8)項に関する事業報告

1. 将棋関連商品事業報告

- ◇ 将棋盤：高級品・普及品を販売した。
- ◇ 将棋駒：高級品・普及品を販売した。
- ◇ 扇子：名人戦記念 4月発売 /名人位 8月発売
全棋士署名 6月発売 /竜王戦記念 10月発売
竜王位 2月発売 以上の扇子を販売した。
タイトル保持者・棋士・女流棋士 以上の扇子を販売した。
- ◇ カレンダー・将棋手帳 11月から販売した。
- ◇ 将棋関連書籍・雑誌を販売した。
- ◇ 他グッズ(置き駒、将棋タオル、大盤セットなど)を販売した。

定款 第4条（9）項に関する事業報告

1. 将棋免状認定

- ◇ 専門棋士（プロ棋士）指導による棋力認定
- ◇ 公認将棋指導員による棋力認定
- ◇ 専門誌紙上検定による棋力認定
- ◇ 連盟直営道場による棋力認定
- ◇ 免状を取得できる大会で規定の成績を収めた者への棋力認定
- ◇ 新聞・雑誌の紙上検定による棋力認定
- ◇ インターネットによる棋力認定
- ◇ テレビによる棋力認定
- ◇ 記念認定企画

定款 第4条（10）項に関する事業報告

1. 広報活動

- ◇ 各報道関係者・出版機関に将棋文化の宣伝を行った。
- ◇ 会員・棋戦・イベント等の将棋に関する情報を各報道関係者に発信した。
- ◇ 全国各地の公共機関・施設や企業より依頼された将棋イベントや講演等の協力をした。
- ◇ テレビ・ラジオ番組の制作や取材に協力した。
- ◇ 新聞・雑誌等の取材（原稿依頼を含む）協力をした。
- ◇ 他社の書籍編集の協力や、ゲームの商品化に協力した。
- ◇ 小中高大学生や一般の方々に対局観戦をはじめ、会館の案内をした。
- ◇ 将棋対局における棋譜・記録等、資料整備を行った。
- ◇ ホームページ上より将棋の情報を一般の方々に公開した。
- ◇ 対局を写真撮影しマスコミに貸出を行った。

2. 電子メディア事業

- ◇ インターネットホームページ <http://www.shogi.or.jp/>にて将棋情報・イベント告知を配信し、国内・海外への普及振興を行った。
- ◇ インターネット、モバイルでの棋戦中継事業を行った。
- ◇ インターネットで無料対局サイト「将棋倶楽部24」を運営した。
- ◇ インターネット動画「ニコニコ生放送」を活用してタイトル戦の動画配信、動画解説会を行った。
- ◇ インターネット動画「ニコニコ生放送」でコンピュータとプロ棋士の対局「電王戦」を行なった。
- ◇ 社内ネットワークの再構築を行った。
- ◇ PC、デジタル機器の資産管理の再整備を行った。

3. 第3回将棋文化検定 6会場（札幌・東京・大阪・名古屋・福山・福岡）で実施した。 （10月4日）

4. 将棋文化振興自治体 全国将棋サミット2015

参加自治体数 15自治体

会場 山形県天童市

日程 8月2日

常務会等に関する事項

| | 開催年月日 | 議事事項 |
|-------------|------------|---|
| 常務会 | 2015年4月1日 | 業務の管理、運営に関して |
| 月例報告会（東西合同） | 2015年4月10日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 常務会 | 2015年4月10日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年4月17日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年4月27日 | 業務の管理、運営に関して |
| 月例報告会（東西合同） | 2015年4月27日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 常務会 | 2015年5月8日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年5月18日 | 業務の管理、運営に関して |
| 理事会 | 2015年5月18日 | 議案 第1号 平成26年度決算書類承認の件 第2号 平成26年度事業報告承認の件 第3号 66回通常総会開催の件 第4号 規定変更の件 第5号 役員予定者承認の件 報告 |
| 常務会 | 2015年5月25日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年6月3日 | 業務の管理、運営に関して |
| 第66回通常総会 | 2015年6月4日 | 第1号議案 平成26年度事業報告書承認の件 第2号議案 平成26年度決算書類承認の件 第3号～16号議案 理事選任の件 第17号18号議案 監事選任の件 第19号議案 対局規定変更承認の件 第20号議案 フリークラス棋士制度（規定）変更の承認 |
| 理事会 | 2015年6月4日 | 議案 第1号 代表理事（会長）選定の件 第2号 業務執行理事（専務理事並びに常務理事）選定の件 第3号 一般社団法人北海道将棋連盟残余財産受入承認の件 第4号 変更認定申請 承認の件 第5号 事業計画書 承認の件 第6号 収支予算書 承認の件 |
| 常務会 | 2015年6月8日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年6月15日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年6月29日 | 業務の管理、運営に関して |

| | | |
|-------------------|-------------|---|
| 常務会 | 2015年7月6日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年7月13日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年7月28日 | 業務の管理、運営に関して |
| 決議の省略による 臨時理事会 | 2015年7月28日 | 第1号議案 将棋会館耐震補強工事費用 承認の件 |
| 月例報告会（東京） | 2015年7月28日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 月例報告会（関西） | 2015年7月31日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 常務会 | 2015年8月7日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年8月24日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年9月7日 | 業務の管理、運営に関して |
| 理事会 | 2015年9月8日 | 議案 第1号 九州研修会 承認の件 第2号 公益目的事業駒桜及び脳科学分野研究への協力事業廃止に係る変更承認認定承認の件 第3号 公益目的事業北海道将棋会館における普及啓発事業等に係る変更届出承認の件 報告 |
| 常務会 | 2015年9月14日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年9月28日 | 業務の管理、運営に関して |
| 月例報告会（東京） | 2015年9月28日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 月例報告会（関西） | 2015年9月29日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 常務会 | 2015年10月9日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年10月19日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年10月26日 | 業務の管理、運営に関して |
| 月例報告会（東京） | 2015年10月26日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 月例報告会（関西） | 2015年10月27日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 常務会 | 2015年11月2日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年11月9日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年11月16日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年11月30日 | 業務の管理、運営に関して |
| 月例報告会（東西合同） | 2015年11月30日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 理事会 | 2015年12月8日 | 議案 第1号 平成27年度中間決算承認の件 第2号 渉外アドバイザー新設承認の件 報告 |

| | | |
|-----------|-------------|---|
| 常務会 | 2015年12月8日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年12月14日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2015年12月21日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年1月12日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年1月18日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年1月25日 | 業務の管理、運営に関して |
| 月例報告会（東京） | 2016年1月25日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 月例報告会（関西） | 2016年1月28日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 常務会 | 2016年2月1日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年2月12日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年2月22日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年2月29日 | 業務の管理、運営に関して |
| 月例報告会（東京） | 2016年2月29日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 月例報告会（関西） | 2016年3月4日 | 正会員への報告及び質疑応答 |
| 常務会 | 2016年3月7日 | 業務の管理、運営に関して |
| 常務会 | 2016年3月14日 | 業務の管理、運営に関して |
| 理事会 | 2016年3月18日 | 議案 第1号 平成28年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件 第2号 公益法人会計処理規定改定の件 報告 |
| 常務会 | 2016年3月28日 | 業務の管理、運営に関して |